

平成27年度当初予算の概要および主要事業

(まち・ひと・しごと創生総合戦略に関する平成26年度補正予算を含む)

日本一輝いているまち★燕市 を目指して！





1. 予算編成のポイント	1
2. 歳入のポイント	2
3. 歳出のポイント	3
4. 燕市の基本政策	4
テーマ1. 定住人口の増加	5
テーマ2. 活動人口の増加	7
テーマ3. 交流・応援(燕)人口の増加	9
5. 燕市総合計画後期基本計画体系図	11
(1)新しい活力を創造するまち	17
(2)未来の燕を担う子どもたちを育むまち	21
(3)いきがいとやさしさを実感できるまち	24
(4)快適で住みやすく、愛着を感じるまち	29
(5)利便性が高く、にぎわいを創るまち	32
(6)市民とともに築くまち	36
6. 合併10周年記念事業	37

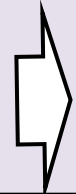


《予算編成のポイント》

平成27年度の一般会計当初予算は、少子高齢化が急速に進行し、人口減少社会の到来が大きな課題となっている中、人口増戦略の更なる強化をはじめ、産業の活性化や教育・子育て環境の整備、福祉・医療サービス等の各施策の充実を図ることに重点を置きました。

また、国の緊急経済対策に係る財源を活用した平成26年度補正予算とも併せて、これらの施策を推進することにより「日本一輝いているまち☆燕市」を目指します。

- 【燕市の3つの人口増戦略】
- 1 定住人口
 - 2 活動人口
 - 3 交流・応援(燕)人口



国の施策である「まち・ひと・しごと創生総合戦略」とも歩調を合わせ、「燕市の3つの人口増戦略」の強化を図ります。

《予算の規模》

国の緊急経済対策に伴う平成26年度補正予算を加えた場合の一般会計総額
382億4,240万円

会計名	予算額	対前年度増減額	対前年度比
一般会計	378億4,500万円 (336億8,463万円)	▲6億9,200万円 (▲20億7,368万円)	▲1.8% (▲5.8%)
特別会計	国民健康保険	+8億9,384万円	+10.7%
	後期高齢者医療	+1,203万円	+1.8%
	介護保険事業	+3億9,585万円	+5.2%
	公共下水道事業	+8,884万円	+2.4%
	土地取得	+8億3,999万円	+882.1%
	企業団地造成事業	平成26年度末で廃止	▲135万円
合計	605億4,208万円 (563億8,172万円)	+15億3,721万円 (+1億5,552万円)	+2.6% (+0.3%)

会計名	予算額	
平成27年度当初予算	378億4,500万円	
平成26年度補正予算	3億9,740万円	
内訳	地域消費喚起・生活支援型	1億1,300万円
	地方創生先行型	1億1,249万円
	その他	1億7,191万円
合計	382億4,240万円	

※()は借換債を除いた実質的な予算額等です。
 ※千円未満の端数の関係により合計額と一致しない場合があります。

歳入のうち、自主財源の根幹をなす市税は、個人及び法人市民税が増加していますが、固定資産税が評価替えに伴い減少しており、市税全体では99億8,174万円、前年度比1億7,436万円の減額となっています。

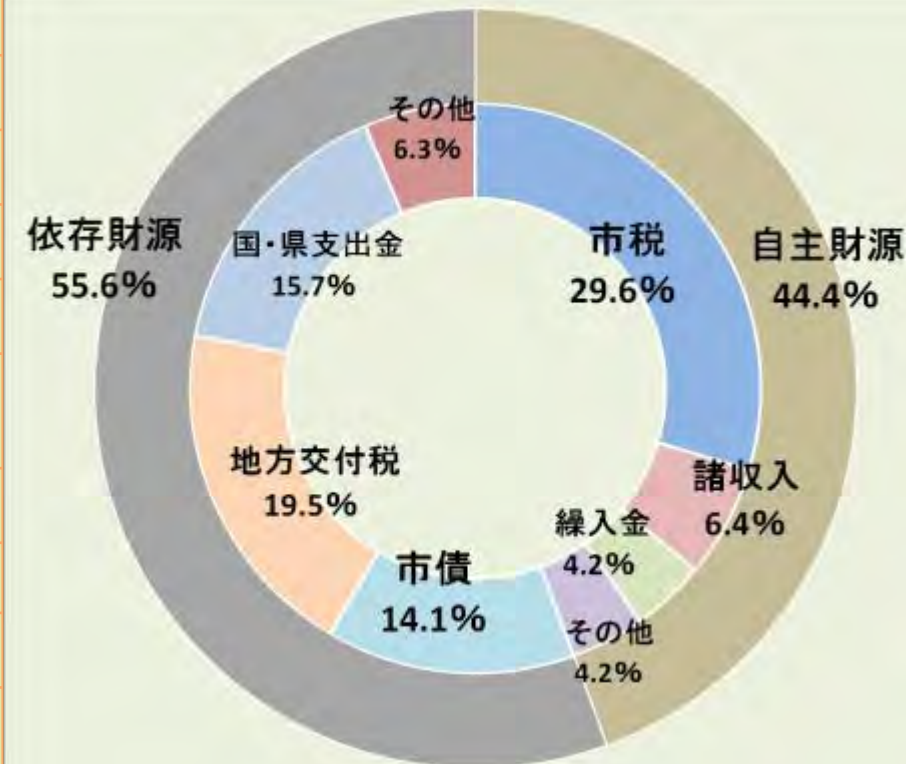
市債は、89億857万円(前年度比▲15億1,822万円)と大幅な減額となっています。この内訳は、借換債が13億8,168万円増加したものの、旧庁舎の改修事業や西部学校給食センター建設事業などの大規模事業の終了により合併特例債が29億5,320万円減少したことによるものです。

また、地方交付税は、前年度比3億7,000万円増の65億7,000万円を見込んでいます。

平成27年度 歳入(収入)の内訳

「実質的な予算規模」の費目別割合

区分	予算額	対前年度増減額	対前年度比
自主財源	市税	99億8,174万円	▲1億7,436万円 ▲1.7%
	諸収入	21億6,693万円	▲6億2,988万円 ▲22.5%
	繰入金	14億1,938万円	2億4,391万円 +20.8%
	その他	13億8,349万円	+4,235万円 +3.2%
依存財源	市債	89億857万円 (47億4,820万円)	▲15億1,822万円 (▲28億9,990万円) ▲14.6% (▲37.9%)
	地方交付税	65億7,000万円	+3億7,000万円 +6.0%
	国・県支出金	52億8,558万円	+5億5,226万円 +11.7%
	その他	21億2,933万円	+4億2,194万円 +24.7%
合計	378億4,500万円 (336億8,463万円)	▲6億9,200万円 (▲20億7,368万円) ▲1.8% (▲5.8%)	



※()は借換債を除いた実質的な予算額等です。
 ※千円未満の端数の関係により合計額と一致しない場合があります。

歳出は、つばめ産業ブランド創生や子育て・教育環境、医療福祉などの充実、若者・女性をはじめとした市民が輝けるための施策など、平成26年度補正予算と一体的に「定住人口、活動人口、交流・応援(燕)人口」の増加を目指した取り組みを進めます。

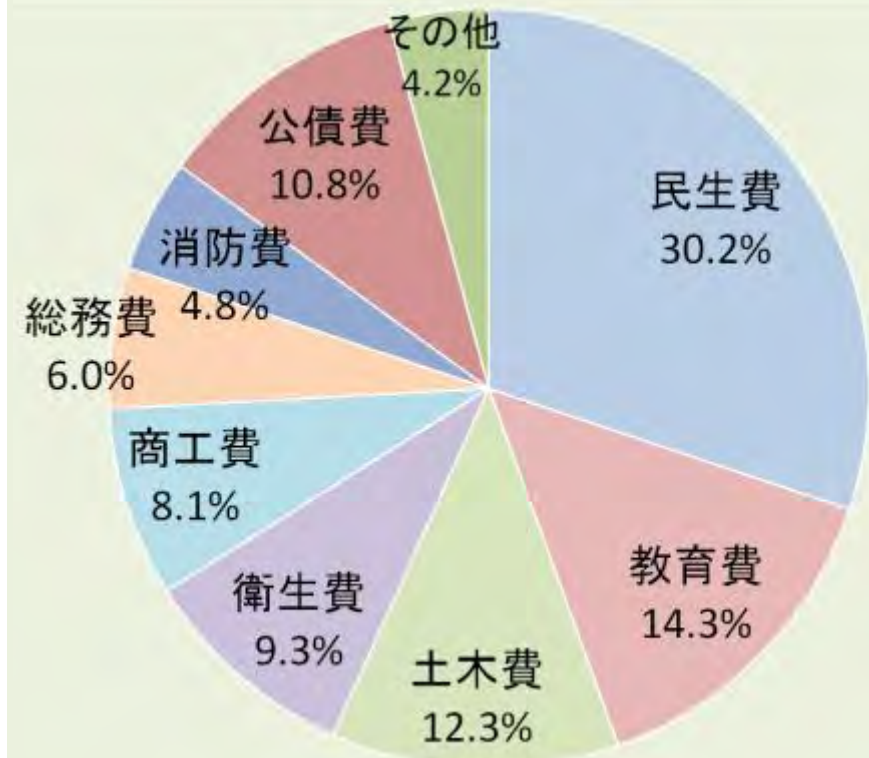
また、公債費は、78億1,212万円(+14億3,811万円)と大幅な増加ですが、借換債の41億6,037万円(+13億8,168万円)を除く実質的な額としては36億5,175万円で、前年度比5,643万円の微増となっています。

このほか、民生費の社会保障関係経費などは増加していますが、教育費の西部学校給食センター建設事業や総務費の旧庁舎改修事業、消防費の分水消防署改築事業などの終了により、歳出予算全体としては、前年度比6億9,200万円の減額となっています。

平成27年度 歳出(支出)の内訳

「実質的な予算規模」の費目別割合

区分	予算額	対前年度増減額	対前年度比
民生費	101億5,664万円	+5億8,707万円	+6.1%
教育費	48億2,118万円	▲2億5,236万円	▲5.0%
土木費	41億3,112万円	▲1億5,445万円	▲3.6%
衛生費	31億4,206万円	▲5億7,248万円	▲15.4%
商工費	27億2,273万円	▲5億7,516万円	▲17.4%
総務費	20億2,578万円	▲10億4,484万円	▲34.0%
消防費	16億1,611万円	▲4億8,536万円	▲23.1%
公債費	78億1,212万円 (36億5,175万円)	+14億3,811万円 (+5,643万円)	+22.6% (+1.6%)
その他	14億1,727万円	+3億6,748万円	+35.0%
合計	378億4,500万円 (336億8,463万円)	▲6億9,200万円 (▲20億7,368万円)	▲1.8% (▲5.8%)



※()は借換債を除いた実質的な予算額等です。
 ※千円未満の端数の関係により合計額と一致しない場合があります。

目指す都市像

日本一輝いているまち・燕市

3つの人口増戦略

1 定住人口

燕市に魅力と愛着を感じ
住みたい・働きたい
と思う人を増やします

① 地場産業の振興

- ・地場産業の再生、新産業の創出
- ・創業支援、後継者育成、移住促進 等

② 教育・子育て環境の整備

- ・特色ある教育(英語、理数、郷土愛等)
- ・子育てと仕事の両立支援(病児保育等)

③ 医療福祉の充実

- ・病気予防対策、障がい者就労支援
- ・地域包括ケアシステム構築 等

④ 都市環境の整備

- ・空き家対策、防災、公園、交通安全 等

2 活動人口

健康づくりや社会活動に
積極的に取り組み
キラキラ輝く人を増やします

① 市民主体の健康・生きがいづくり

- ・健康づくりマイストーリー運動
- ・生涯スポーツ、競技スポーツの振興
- ・生涯学習、文化活動の活発化 等

② 市民協働活動の活発化

- ・高齢者見守り、地域支え合い
- ・環境美化、防災防犯、公共施設管理
- ・子育て支援、地域で支える教育

③ 若者・女性の力を生かす

- ・つばめ若者会議、若者就業支援
- ・女性が輝くつばめプロジェクト
- ・男女の出会いサポート事業 等

3 交流・応援(燕)人口

燕市の魅力に惹かれ
訪れたい・応援したい
と思う人を増やします

① 着地型観光の振興

- ・産業観光、体験観光、インバウンド
- ・観光交流拠点の整備
- ・東京五輪キャンプ誘致(国際交流)

② 都市間交流の推進

- ・弥彦村との定住自立圏構想
- ・防災応援協定(県内、県外)
- ・ヤクルトスワローズサミット

③ 燕市のファンづくり

- ・東京ヤクルトスワローズとの交流
- ・燕市PR大使、ふるさと納税推進 等

～つばめ産業ブランド創生と若者の移住・定住促進～

新産業育成

【拡】次世代産業育成支援事業

【H26補正予算額】14,689千円

○ 医療機器産業育成支援

洋食器やハウスウェア製造で培ってきた金属加工技術を活用し、医療機器産業の育成を支援します。

- ◆医療機器コーディネーターの設置
- ◆医療機器研究会への支援

○ 新たな分野の産学官連携の

【担当課】商工振興課 共同研究開発支援

販路開拓

【拡】つばめ東京オリンピックプロジェクト

【予算額】1,903千円

官民共同で2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催を契機にした燕ブランド発信事業を実施します。

- ◆選手村食堂や厨房などで使用可能な燕製品の仕様等についての調査・研究

【担当課】商工振興課



地元定着・転入増の流れをつくる

【拡】つばめ創業支援事業

【予算額】2,534千円

【H26補正予算額】2,000千円

創業に関する支援策を充実させ、熱意と意欲のある起業家にとって日本一起業しやすいまち『燕』を目指します。

- ◆地域金融機関との連携による創業セミナー開催
- ◆創業活性化支援補助金
- ◆創業支援資金利子補給金
- ◆ものづくり創業ラボ（仮称）の検討

【担当課】商工振興課

農業の競争力強化

【新】チャレンジ・ファーマー支援事業

【予算額】8,000千円

○ 農カアップチャレンジ支援

水田をフル活用した農産物の付加価値向上など新たな取り組みにチャレンジする農業者等が行う事業費の一部を補助します。

- ◆補助率 事業費の1/3以内（上限額50万円）

○ コスト低減チャレンジ支援

新たに栽培コストの低減や規模拡大などを目標として水稻の直播栽培にチャレンジする農業者等に対して機械購入費の一部を補助します。

- ◆補助率 事業費の1/2以内（上限額60万円）



【担当課】農政課

【拡】地域産業ブランド化推進事業（東京五輪を契機とした地域産業ブランド向上）

【H26補正予算額】4,000千円

○ 金属酒器乾杯運動の推進

金属酒器による乾杯の習慣を普及し、地域文化として確立することで、燕製品の技術力を世界に発信し、販売強化を図ります。

- ◆マイカップ運動の推進



○ 首都圏におけるカトラリー検定の普及
燕製品の品質・技術に対する理解者を増やし、カトラリーの需要拡大を図ります。

- ◆カトラリー検定を専門見本市に併せて開催

【担当課】商工振興課

【新】移住・定住促進総合事業

【予算額】9,000千円

【H26補正予算額】6,480千円

移住・定住に関する総合情報を提供しながら、U・I・Jターン就職促進による転入増加を目指します。

- ◆企業ガイドブック作成と就職セミナー参加
- ◆移住・定住促進PR媒体の作成と情報発信
- ◆首都圏在住大学生等交流事業（東京つばめいと）
- ◆地域おこし協力隊の設置



【担当課】商工振興課、地域振興課

～子育て・教育環境、医療福祉、都市環境が充実するつばめ～

子どものやる気や子育て応援

○ 病児・病後児保育運営事業

【予算額】18,487千円

小児科医院に併設した保育施設で、病気や病後の児童を一時的に保育します。

新 子育て総合支援センター運営事業

【予算額】8,129千円

子育て家庭の交流や育児相談支援等を行うため、子育て総合支援センターを開設します。

◆ファミリー・サポート・センター事業

◆サークルやボランティア団体等の活動・育成支援 など

【担当課】子育て支援課



拡 子ども医療費助成事業

【予算額】247,898千円

子育て世代の経済的負担を軽減するため医療費の一部を助成します。(中学校卒業まで)

【担当課】保険年金課

新 羽ばたけつばくろ応援事業

【予算額】1,027千円

若者たちの夢の実現や社会参画の活動を支援します。

◆補助対象 個人 高校生～20歳
団体 小中学生～20歳

◆助成限度額 個人 1件当たり10万円まで
団体 1件当たり25万円まで

【担当課】学校教育課

医療への幅広い支援

拡 特定不妊治療費助成事業

【予算額】4,000千円

特定不妊治療にかかる自己負担額の一部を助成し、経済的負担の軽減を図ります。

◆助成率 県助成金控除後の額の1/2

◆助成上限額 1回につき8万円

【担当課】健康づくり課

生活習慣病等の予防対策

【予算額】6,635千円

新 慢性閉塞性肺疾患進行予防事業

拡 胃がん対策事業

拡 糖尿病性腎症重症化予防事業

【担当課】保険年金課

拡 Jack & Bettyプロジェクト

【予算額】31,824千円

小学5年生から中学3年生までの5年間の一貫した英語教育や海外派遣等を通して、国際理解を深め、燕市の将来を担う人材を育成します。

◆Jack & Betty 教室

・英語検定受験料の1/2を助成(新規)

・夏休み English Camp

◆英語スピーチコンテスト

◆親善大使海外派遣 など

【担当課】学校教育課



快適な都市環境の整備

新 移住家族支援事業

【H26補正予算額】30,000千円

新 定住家族支援事業

【予算額】16,950千円

子育て世代の移住・定住を支援するため、住宅取得費用の一部を助成します。

◆助成上限額(移住:転入向け)100万円

助成上限額(定住) 50万円

【担当課】都市計画課

新 井土巻高速バス乗場駐車場運営事業

【予算額】269千円

通勤等で高速バスを定期的にご利用する方など向けのパークアンドライド用の駐車場として活用し、公共交通の利用促進を図ります。

◆区画数 53台分



【担当課】生活環境課

笑顔あふれるやすらぎの公園整備

【予算額】104,403千円

新 大河津分水さくら公園整備事業

新 吉田ふれあい広場整備事業

【担当課】都市計画課

～若者・女性が輝くつばめ～

若者パワーによるまちづくり

○ つばめ若者会議事業

【予算額】2,018千円

若者たちが描いた燕市の将来像「つばめの幸福論」の実現に向けて、主体的な活動に取り組む若者会議をサポートします。

- ◆今宵サミット2015開催
地域おこしに取り組む全国各地のみなさんが燕市に集まり、日頃の活動成果発表や意見交換を行う今宵サミットを開催
- ◆プロジェクトの実行
つばめ若者会議から生まれた各チームが、さまざまなプロジェクトを実行



【担当課】地域振興課

女性が輝くつばめプロジェクト

新 女性雇用促進職場環境整備支援事業

【H26補正予算額】5,000千円

市内事業所における、託児所や女性専用のトイレ・更衣室・休憩室など女性が働きやすい職場環境の整備を支援し、女性雇用の促進を図ります。

【担当課】商工振興課

新 女性が輝く研修交流事業

【H26補正予算額】742千円

スキルアップのための講座や研修会、フリートーク形式による女子会を行うことにより、女性のキャリアアップ・意識啓発を図ります。

- ◆キャリア研修
官民合同で女性のキャリアアップのための研修会を定期開催
- ◆女子会トーク
世代や職業を超えて多くの女性同士が交流できる女子会を開催

【担当課】地域振興課



男女の出会い支援

新 男女の出会いサポート事業

【H26補正予算額】597千円

晩婚化、未婚化を解消するための一助として、結婚を希望する男女の出会いをサポートする事業を総合的に展開します。

- ◆縁結びサークルの支援
お見合いや婚活パーティーの企画・開催や相談助言などの支援
 - ◆出会い応援団の募集
 - ◆出会いイベントの開催
官民一体となった実行委員会を設置し、さまざまな出会いイベントを開催
 - ◆コミュニケーションスキル講座の開催
 - ◆ポータルサイト設置による情報の提供
- 【担当課】地域振興課、社会教育課 他



～ 市民がキラキラ輝くつばめ ～ 市民主体の健康・生きがいづくり

● 健康づくりマイストーリー運動

【予算額】 4,412千円



【担当課】 健康づくり課

“気軽に・自分のペースで・自分に合った” 運動や健康づくりに取り組む「健康づくりマイストーリー運動」を引き続き実施します。

- ◆ポイントを貯めることで、健康行動に楽しみをプラス
- ◆健康管理のツールとして、新たにウェブシステムを導入
- ◆継続して取り組んだ人への表彰・認定
- ◆健康講座の開催 ◆抽選会の実施 ◆保健指導の実施

○ 公民館事業

【予算額】 10,628千円

日々の生活を豊かにする生涯学習を積極的に推進するため、様々な講座や学習成果発表の場となる文化祭などを開催します。

- ◆つばめ目耕塾 ◆燕大学
- ◆市民教養講座 ◆各公民館文化祭 等

【担当課】 社会教育課

市民協働活動の活発化

学校・家庭・地域の連携促進

○ 地域に根ざす学校応援団事業

【予算額】 10,860千円

学校とボランティアの連携調整を担う地域コーディネーターを配置し、地域で学校を応援します。

● 学校・地域連携促進事業

【予算額】 5,000千円

地域と学校の連携を深め、地域で子どもたちを育成する体制をより強化するため、各学校の実情に応じた助成を行います。

- ◆助成対象 市内小中学校
- ◆対象経費 学校と地域の連携を促進する経費
- ◆助成金額 1校あたり上限25万円

【担当課】 学校教育課

● 地域防災組織育成支援事業

【予算額】 2,058千円

自主防災組織の資機材整備や自治会・まちづくり協議会が実施する防災訓練などの経費の一部を補助するほか、防災リーダー養成のための講座を開催します。

- ◆自主防災組織補助金（防災資機材）
- ◆地域防災活動推進事業補助金
- ◆防災リーダー養成講座の開催
- ◆地区防災計画の推進



【担当課】 防災課

● 環境美化推進イベント事業

【予算額】 144千円

楽しく環境美化に貢献できるイベントを通じて、環境美化活動を推進します。

- ◆クリーンアップ選手権大会
- ◆JTひろえば街が好きになる運動

【担当課】 生活環境課

● イキイキまちづくり支援事業

【予算額】 3,207千円

市民自らが実施する公益的な活動に対し、事業費の助成や情報提供、広報PRなどの支援を行います。

- ◆助成対象 イキイキまちづくり団体（まちづくりに自発的かつ主体的に取り組む登録団体）
- ◆対象経費 事業の実施に必要な経費
- ◆助成金額 5万円～30万円（助成率4/5～10/10）

【担当課】 地域振興課

● 地域支え合い体制推進事業

【予算額】 2,303千円

地域で困っている人を地域全体で支援する仕組みと体制づくりを構築します。

- ◆モデル地区等における支え合い活動支援

【担当課】 社会福祉課

～ホストシティつばめ～

国際的な魅力発信

新 東京五輪キャンプ地誘致事業 【予算額】 2,711千円

国体や高校総体を開催している実績を活かし、アーチェリーを中心に、オリンピック・パラリンピックの事前キャンプ地を目指し、誘致活動を行います。

今年度は、研修会や講演会を開催して誘致への機運を高めるとともに、受け入れ体制の整備を検討、推進します。

- ◆誘致推進研修会・講演会の開催
(五輪メダリストの招聘など)
- ◆PRリーフレットの作成



【担当課】 社会教育課

観光交流拠点の整備

○ 県央大橋西詰周辺地域整備事業 【予算額】 150千円

燕市の表玄関といえる位置にある県央大橋西詰周辺地域の新たな観光交流拠点整備に向けて、基本計画を策定して事業を推進します。

【担当課】 企画財政課

着地型観光の振興

新 観光プロモーション事業（観光協会補助事業）【H26補正予算額】 3,000千円

燕市の魅力アップや観光協会が行うイベント支援とPR強化のため、ポスター制作や各種パブリシティの活用を図ります。

- ◆パブリシティの活用 ◆燕三条駅構内の観光PR広告設置 ◆ポスター・チラシの製作

新 つばめ「おもてなし力」アップ事業（観光協会委託事業） 【H26補正予算額】 10,000千円

燕市の「おもてなし力」をアップするため、産業観光ナビゲーターの育成、新たな観光資源の発掘や磨き上げを行います。

- ◆新たな体験型観光の企画 ◆大河津分水等観光資源のグレードアップ
- ◆ボランティアガイド活動支援 ◆産業観光ナビゲーター育成

新 観光エリア魅力アップ促進事業（燕・弥彦地域定住自立圏共生ビジョン） 【予算額】 16,875千円

燕市と弥彦村が連携し、首都圏への観光PRを強化するとともに地域資源を活用した魅力ある観光企画により、圏域内への誘客促進を図ります。

- ◆首都圏等観光PR事業 ◆2次交通整備事業
- ◆観光エリアマップ等作成事業 ◆燕・弥彦コラボ企画事業



新 燕三条インバウンド推進事業（地場産センター負担金） 【H26補正予算額】 7,000千円

観光客入込数の増加に繋げるために、三条市と連携し、燕三条地域の優れた地域資源や地場産品を積極的にPRします。

- ◆「全国産業観光フォーラム in 燕三条」の開催 ◆「ミラノ国際博覧会」への出展
- ◆外国人向けの地域PR映像の制作

新 産業史料館インバウンド受入環境整備事業 【H26補正予算額】 5,000千円

海外からの誘客を推進するため、産業史料館での多言語化に取り組みます。

- ◆ホームページ・館内解説パネルなどの多言語化

【担当課】 商工振興課

～様々な交流で繋がるつばめ～

都市間交流の推進

新 燕・弥彦地域定住自立圏共生ビジョン推進事業 【予算額】114千円

燕・弥彦地域定住自立圏形成協定に基づき、定住自立圏共生ビジョン懇談会の意見を反映しながら広域連携事業の推進を図ります。

- ◆ 弥彦村との連携による広域観光の振興
- ◆ 観光交流拠点の整備
- ◆ 地域公共交通ネットワークの強化
- ◆ 職員の合同研修



【担当課】 総務課、企画財政課
生活環境課、商工振興課

○ 都市交流連携事業 【予算額】4,460千円

県内外の自治体と、防災に関する連携への取り組み、特産品・農産物の販売、教育・スポーツ分野での交流などを通じ、相互の発展と成長を目指します。

- ◆ 南魚沼市、南相馬市、南陽市との交流
 - ・ プラットホーム会議の開催
 - ・ イベントへの相互出店 など
- ◆ 東京ヤクルトスワローズ関係交流都市
松山市、浦添市、西都市との交流
 - ・ スワローズカップ少年野球交流大会
 - ・ 神宮球場での4都市イベント



【担当課】 地域振興課、社会教育課 他

燕市のファンづくり

拡 ふるさと燕応援事業 【予算額（歳入）】132,000千円

市外からの寄附者（ふるさと納税）に対し、お礼として市特産品をプレゼントすることで、燕の魅力発信を新たに展開するとともに、自主財源の確保を目指します。

- ◆ お礼の品の充実
- ◆ 寄附手続きの利便性向上



【担当課】 総務課

拡 イメージアップ燕推進事業 【予算額】4,443千円

燕市PR大使や東京ヤクルトスワローズと連携・協力して、燕市をPRし、市産品の販路拡大や地域活性化に取り組みます。

- ◆ 燕市PR大使Welcome Board作成
- ◆ ネスパスイベントやファン感謝DAYなどへのブース出店
- ◆ 田植え・稲刈りイベントの開催
- ◆ つば九郎米の販売促進



【担当課】 地域振興課、農政課 他

1 新しい活力を創造するまち

【政策】	【事業名】	【ページ】
<p>新しい活力を創造するまち</p>		
<p>【基本施策】</p>		
<p>ものづくり活性化への支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> ⑨ 女性雇用促進職場環境整備支援事業 ⑨ 次世代産業育成支援事業 ⑨ つばめ東京オリンピックプロジェクト ⑨ 地域産業ブランド化推進事業 ⑨ 「We Love つばめ」燕製品販売促進事業 ⑨ つばめ産業レガシープロジェクト ⑨ ものづくり現場力強化事業 ⑨ 産地産業グローバル展開支援事業 ○ 新商品新技術開発支援事業 ○ ものづくり品質管理制度（TSO）運営事業 	<p>17</p>
<p>観光の振興</p>	<ul style="list-style-type: none"> ⑨ つばめ「おもてなし力」アップ事業（観光協会委託事業） ⑨ 観光プロモーション事業（観光協会補助事業） ⑨ 観光エリア魅力アップ促進事業 ⑨ 燕三条インバウンド推進事業（地場産センター負担金） ⑨ インバウンド受入環境整備事業 ⑨ イメージアップ燕推進事業 ○ 県央大橋西詰周辺地域整備事業 ⑨ 道の駅国上整備事業 ⑨ 「We Love つばめ」旅行券発行事業 ⑨ 産業史料館入館者増加対策事業 	<p>18</p>
<p>商業・建設業の振興</p>	<ul style="list-style-type: none"> ⑨ つばめ創業支援事業 ⑨ 「We Love つばめ」プレミアム付商品券発行補助事業 ⑨ 商店街活性化事業 ○ まちなかにぎわい創出支援事業（ツバメルシェ開催事業） ○ 住宅リフォーム助成事業 	<p>19</p>
<p>農業の振興</p>	<ul style="list-style-type: none"> ⑨ チャレンジ・ファーマー支援事業 ⑨ 若手農業者経営活性化支援事業 ○ 農地集積・集約化促進事業 ○ 青年就農給付金事業 ○ 水田農業構造改革対策事業 ○ 燕市地産地消推進事業（農業まつり） ○ 多面的機能支払交付金事業 ○ 村づくり交付金事業 	<p>20</p>

網掛けの事業 = 3つの人口増戦略関連事業
 ⑨ = 新規事業 ⑨ = 拡充事業
 臨 = 単年度のための臨時的事業

【政策】

未来の燕を担う子どもたちを育むまち

【事業名】

【ページ】

【基本施策】

燕らしい特色のある教育の推進

- ◎ 羽ばたけつばくろ応援事業
- ◎ Jack&Bettyプロジェクト
- ◎ つばめっ子かるた普及促進事業
- ◎ 燕キャプテンミーティング事業
- ◎ 子どもを育む推進事業（合併10周年記念事業：37ページ参照）
- 長善館学習塾事業
- 「学びの心」を醸成する教育
- 燕ジュニア検定事業

21

教育環境の向上

- ◎ 学校・地域連携促進事業
- 地域に根ざす学校応援団事業
- ◎ Wi-Fiステーション整備事業
- ◎ 中学校学力向上対策プロジェクト
- ◎ 東部学校給食センター建設事業
- ◎ 燕西小学校屋内運動場天井耐震改修事業
- ◎ 燕中学校剣道場天井耐震改修事業
- ◎ 小池中学校特別教室棟改築事業
- 吉田小学校改築事業
- 科学教育推進事業

22

子育て支援の充実

- ◎ 子育て総合支援センター運営事業
- 病児・病後児保育運営事業
- ◎ （仮称）燕西児童クラブ整備事業
- ◎ （仮称）燕西こども園整備事業
- ◎ 要保護児童対策事業
- 地域子育て支援講座事業
- 子育て情報発信事業

23

3 生きがいとやさしさを実感できるまち

【政策】

【事業名】

【ページ】

生きがいとやさしさを実感できるまち

【基本施策】

市民が主役の健康づくり

医療サービス・保険制度の充実

高齢者福祉の充実

障がい者福祉の充実

地域福祉の充実

生涯学習・文化活動の充実

スポーツを通じた
健康づくり活動の推進

- ④ 健康づくりマイストーリー運動
- 元気磨きたい活動推進事業

- ④ 慢性閉塞性肺疾患進行予防事業
- ④ 子ども医療費助成事業
- ④ 特定不妊治療費助成事業
- ④ 胃がん対策事業
- ④ 糖尿病性腎症重症化予防事業
- 慢性腎臓病進行予防事業

- ④ 燕市地域包括ケアシステム構築推進事業
- ④ 在宅医療・介護連携推進事業

- ④ 療育支援体制構築準備事業
- ④ 広報つばめ音声訳事業
- ④ 燕市公式ウェブサイトリニューアル事業
- ④ 手話通訳者等頸肩腕障がい検診助成事業
- ④ 障がい者基幹相談支援センター機能強化事業
- ④ 障がい者日常生活用具給付事業

- ④ 地域支え合い体制推進事業
- ④ 若者就労支援事業
- 生活困窮者自立支援事業

- 公民館事業
- ④ 文化会館自主事業
- ④ 中央公民館改修事業、南公民館耐震改修事業
- ④ 文化会館自主事業（合併10周年記念事業：37ページ参照）
- ④ 燕市美術展覧会開催事業（合併10周年記念事業：37ページ参照）
- 生涯学習推進計画策定事業

- ④ 東京五輪キャンプ地誘致事業
- ④ JCYレディースサッカーフェスティバル開催事業
- ④ 分水武道館耐震改修事業
- ④ 可搬式投光器照明整備事業
- ④ 粟生津体育センター耐震改修事業
- ④ 子どもの体力向上サポート事業
- ④ 燕マラソン大会（合併10周年記念事業：37ページ参照）

24

25

26

25

27

28

【政策】

快適で住みやすく、愛着を感じるまち

【基本施策】

【事業名】

【ページ】

防災と消防・救急体制の充実・強化

- ④ 地域防災組織育成支援事業
- ③ Wi-Fiステーション整備事業 [再掲]
- ③ 木造住宅建替耐震化事業
- ④ 総合防災訓練
- ④ 災害時備蓄品等配備事業
- 木造住宅耐震診断事業
- 木造住宅耐震改修事業

29

防犯と消費者保護対策の充実・強化

- 防犯カメラ設置補助事業

環境にやさしい社会の構築

- ④ 環境美化推進イベント事業
- ③ カンカンBOOK（資源ごみ回収・子育て支援連携事業）
- ④ 環境基本計画策定事業
- ペットボトルリサイクル業務委託事業
- 小型家電リサイクル推進事業

30

公共交通の整備促進

- ③ 井土巻高速バス乗場駐車場運営事業
- ④ 循環バス運行事業（スワロー号・やひこ号）
- ④ 予約制乗合ワゴン車運行事業（おでかけきららん号）

31

交通安全対策の充実・強化

- 高齢者運転免許自主返納支援事業

【政策】

利便性が高く、にぎわいを創るまち

【事業名】

【ページ】

【基本施策】

市街地環境の整備

- ◎ 移住家族支援事業
- ◎ 定住家族支援事業
- ◎ 新興野地区雨水対策事業
- 空き家解体撤去費助成
- 空き家改修費助成
- 空き家・空き地活用バンク事業
- 須頃郷排水対策事業
- 本町排水区浸水対策事業
- 住宅リフォーム助成事業 [再掲]

32

公園・緑地の整備・充実

- ◎ 大河津分水さくら公園整備事業
- ◎ 吉田ふれあい広場整備事業
- ◎ 「想いを形に」かがやきベンチ事業
- ◎ 東町公園オープニングイベント

33

道路網の整備

- ◎ 側溝修繕事業
- ◎ 道路付属物修繕事業
- ◎ 中島環状線他雪寒事業
- 吉田95号線道路改良事業
- 道金水道町線他雪寒事業
- 井土巻16号線雪寒事業
- 藤見線他雪寒事業

34

下水道の整備

- ◎ 公共下水道早期接続促進事業
- 公共下水道整備（未普及対策）事業
- 本町排水区管渠施設改築更新（長寿命化）事業
- 下水道終末処理施設改築更新（長寿命化）事業

35

上水道の安定供給

- 水道事業基本計画策定事業

【政策】

市民とともに築くまち

【基本施策】

【事業名】

【ページ】

市民との協働の推進

- ④ イキイキまちづくり支援事業
- つばめ若者会議運営事業

男女共同参画の推進

- ④ 女性が輝く研修交流事業

行財政の効率化・健全化

- ④ ふるさと燕応援事業
- ④ 旧燕工業高校跡地活用事業
- ④ 個人番号カード交付事務事業
- ④ 社会保障税番号制度導入事業
- ④ 公共施設等総合管理事業
- ④ 燕市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定事業
- ④ 合併10周年記念式典（合併10周年記念事業：37ページ参照）
- 第2次総合計画策定事業
- 第2次行政改革大綱策定事業

36

その他重点事業

その他重点事業

移住・定住促進

- ④ 移住・定住促進総合事業

5

男女の出会い支援

- ④ 男女の出会いサポート事業

7

広域連携

- ④ 燕・弥彦地域定住自立圏共生ビジョン推進事業
- 都市交流連携事業

10


【ねらい】

- ①地域産業の成長力の底上げを図るため、ものづくり産業基盤の維持・強化に向けた取り組みを支援します。
- ②付加価値の高い新商品・新技術開発を支援し、新たな産業分野に挑戦する企業を応援します。
- ③海外市場をはじめとした新たな販路と需要を開拓する企業を多方面から支援します。

ものづくり産業基盤の強化

拡 つばめ産業レガシープロジェクト
 【H26補正予算額】 2,983千円
 失われる可能性のある特定技術・技能を後世に継承し、産地保有技術基盤を強化します。
 ◆産地保有技術のデジタルアーカイブ化
 ◆次代を担う監督者研修
 ◆ナイフ製造技術を継承する産地システムづくり
 【担当課】 商工振興課

拡 ものづくり現場力強化事業
 【予算額】 5,101千円
 現場改善インストラクターの指導により現場の生産効率を高め、生産量の増加、短納期への対応等を図ります。
 ◆ものづくり現場力強化研究会の設置
 ◆モデル企業現場改善事業
 【担当課】 商工振興課

○ ものづくり品質管理制度 (TSO) 運営事業
 【予算額】 13,683千円
 独自の品質管理システムTSOの認証事業所の増加を図り、産地全体として品質管理に対する意識が高いことをPRし、受注の拡大を目指します。 【担当課】 商工振興課

地域消費喚起

新 「We Love つばめ」
 燕製品販売促進事業
 【H26補正予算額】 50,000千円
 燕製の逸品を本来の価格と割引後の価格を併記して販売し、その差額分を市が助成します。
 ◆プレミアム率(割引率) 20%
 ◆対象品目 取扱店舗で販売している単価1,000円以上の燕製品
 ◆取扱店舗 地場産品等を多く取り扱う店舗



【担当課】 商工振興課

職場環境の改善

新 女性雇用促進職場環境整備支援事業
 【H26補正予算額】 5,000千円
 【担当課】 商工振興課【再掲 7ページ参照】

拡 次世代産業育成支援事業
 【H26補正予算額】 14,689千円
 【担当課】 商工振興課【再掲 5ページ参照】

新規分野参入・販路開拓支援

拡 産地産業グローバル展開支援事業
 【予算額】 723千円
 【H26補正予算額】 15,000千円
 海外への販路開拓を進める中小企業のニーズに応え、ビジネスチャンスの拡大を支援します。
 ◆海外ビジネスセミナーの開催
 ◆海外見本市出展サポート事業補助金
 【担当課】 商工振興課



○ 新商品新技術開発支援事業
 【予算額】 20,139千円
 付加価値の高い新商品新技術の開発経費や新分野進出等の研究・活動経費の一部を補助します。
 ◆開発支援 2/3以内 上限額300万円
 ◆研究支援 1/2以内 上限額 20万円
 【担当課】 商工振興課

拡 つばめ東京オリンピックプロジェクト
 【予算額】 1,903千円
 【担当課】 商工振興課 【再掲 5ページ参照】

拡 地域産業ブランド化推進事業
 【H26補正予算額】 4,000千円
 【担当課】 商工振興課 【再掲 5ページ参照】

【ねらい】

- ①産業と自然の地域観光資源を融合して、地域に人を呼び込む着地型観光を積極的に推進します。
- ②燕・弥彦地域定住自立圏構想を推進し、広域連携体制の強化を図ります。
- ③産業史料館の受け入れ環境の整備・充実を総合的に推進し、入館者の増加を図ります。

着地型観光の推進

拡 観光協会補助事業

【予算額】28,800千円

燕を代表する大型観光イベントを開催するとともに、観光情報を全国に向けて発信します。

- ◆分水おいらん道中の開催
- ◆酒吞童子行列の開催
- ◆体験型観光事業の開催



【担当課】商工振興課

○ 県央大橋西詰周辺地域整備事業

【予算額】150千円

【再掲 9ページ参照】

【担当課】企画財政課

拡 イメージアップ燕推進事業

【予算額】4,443千円

【再掲 10ページ参照】

【担当課】商工振興課

地域消費喚起

新 「We Love つばめ」旅行券発行事業

【H26補正予算額】13,000千円

市内のホテルや近隣宿泊地での宿泊と、市内で使える商品券3,000円分をセットにしてインターネット販売します。

- ◆発券数 3,500セット
 - ◆宿泊場所 市内または近隣の宿泊施設
 - ◆商品券取扱店舗 地場産品等を多く取り扱う店舗
- 【担当課】商工振興課

新 観光プロモーション事業

(観光協会補助事業)

【H26補正予算額】3,000千円

【担当課】商工振興課 【再掲 9ページ参照】

新 つばめ「おもてなし力」アップ事業

(観光協会委託事業)

【H26補正予算額】10,000千円

【担当課】商工振興課 【再掲 9ページ参照】

新 燕三条インバウンド推進事業

(地場産センター負担金)

【H26補正予算額】7,000千円

【担当課】商工振興課 【再掲 9ページ参照】

定住自立圏構想の推進

新 道の駅国上整備事業

【予算額】89,701千円

寺泊～弥彦へと結ぶ広域観光ルートの結節点にある道の駅国上の機能強化を図り、地場産業も含めた燕・弥彦エリアの魅力を発信できる施設への改修を図ります。

- ◆トイレ・売店の設計
- ◆トイレ整備工事



【担当課】商工振興課

新 観光エリア魅力アップ促進事業

【予算額】16,875千円

【担当課】商工振興課 【再掲 9ページ参照】

産業史料館の活性化

拡 入館者増加対策事業

【予算額】1,190千円

各種イベントを開催し、入館者の増加を図ります。

- ◆講演会・コンサートの開催
- ◆ものづくり体験教室の開催
- ◆庭園茶会の開催
- ◆夏休みイベントの開催
- ◆夜間・月曜日開館日の設定

【担当課】商工振興課

新 インバウンド受入環境整備事業

【H26補正予算額】5,000千円

【担当課】商工振興課【再掲 9ページ参照】

【ねらい】

- ①小売商業の活性化を図り、創業を促進するための支援を行います。
- ②商工会議所・商工会などと連携して、商店・商店街への効果的な支援を行います。
- ③厳しい経営環境におかれている市内建設業の育成と活性化を支援します。

商店・商店街の活性化

拡 商店街活性化事業

【予算額】 6,030千円

小売商業・商店街の魅力向上に取り組む団体・個人を支援します。

- ◆ 燕笑店街イベント「200mいちび」の共催
- ◆ 未利用店舗活用に対する助成
- ◆ 共同駐車場設置に対する助成
- ◆ 小売店舗新改装設備に対する助成
- ◆ 施設整備に対する助成



【担当課】 商工振興課

○ まちなかにぎわい創出支援事業 (ツバメルシェ開催事業)

【予算額】 3,015千円

まちなか回遊へとつなぐ、人が集まり、賑やかに楽しむ空間を演出するための、つばめのマルシェ「ツバメルシェ」を開催し、まちなかの活性化を図ります。

- ◆ 開催回数
6回
(燕・吉田・分水の各地区で2回開催)



【担当課】 商工振興課

地域消費喚起

新 「We Love つばめ」 プレミアム付商品券発行補助事業 【26年度補正予算額】 50,000千円

- ◆ 商店街組織等が発行する商品券のプレミアム分等を市が助成します。
 - ◆ プレミアム率(割増率) 20%
 - ◆ 発行単位 1セット500円券×24枚つづり
(12,000円分を10,000円で販売)
 - ◆ 取扱店舗 各商店街組織等で設定
- 【担当課】 商工振興課

創業支援

拡 つばめ創業支援事業

【予算額】 2,534千円

【H26補正予算額】 2,000千円

【担当課】 商工振興課

【再掲 5ページ参照】

建設業の育成と活性化

○ 住宅リフォーム助成事業

【予算額】 30,000千円

市民の生活環境の向上を図り、市内建築関連業者の工事受注機会を増進するため、個人住宅のリフォーム工事費用の一部を助成します。

- ◆ 工事費用 20万円以上
 - ◆ 助成率 工事費用の10%
 - ◆ 助成上限額 10万円
- 【担当課】 営繕建築課



【ねらい】

- ①農業所得向上を目指し、新たな取り組みにチャレンジする農業者等を積極的に支援します。
- ②農作物のブランド化・販路拡大などにより、魅力ある農産物の生産拡大を図ります。
- ③農業の生産性の向上と省力化に向けた生産基盤の整備を促進します。

挑戦する農業者を支援

- 新 チャレンジ・ファーマー支援事業**
【予算額】 8,000千円
【担当課】 農政課 【再掲 5ページ参照】

人・農地プランの促進

- **農地集積・集約化促進事業**
【予算額】 27,552千円
担い手への農地集積に協力する地域及び農業者等に対して協力金を交付します。
◆地域集積協力金 ◆経営転換協力金
◆耕作者集積協力金 【担当課】 農政課

- 新 若手農業者経営活性化支援事業**
【予算額】 ゼロ予算
地域農業の持続的な発展と活性化を目指して若手農業者との懇談会を開催します。
【担当課】 農政課

- **青年就農給付金事業**
【予算額】 4,500千円
青年の就農意欲の喚起と就農後の定着を図るため、経営が不安定な就農直後の所得を確保する給付金を支給します。
【担当課】 農政課

ブランド化・販路拡大

- **水田農業構造改革対策事業**
【予算額】 90,866千円
需要に応じた米づくりや燕市水田フル活用ビジョンに掲げた農産物の「産地化」を目指す農家の取り組みを支援します。
◆転作支援
◆燕市産コシヒカリブランド商品（飛燕舞・つば九郎米）の販売支援
◆首都圏での販売促進イベント開催
【担当課】 農政課

- **燕市地産地消推進事業（農業まつり）**
【予算額】 1,000千円
農業まつりの開催を支援し、地産地消を推進するとともに、燕市産農畜産物の消費拡大を図ります。



【担当課】 農政課

生産基盤の整備

- **多面的機能支払交付金事業**
【予算額】 396,400千円
農業の多面的機能の維持・発揮のための地域活動を支援します。
◆農地維持支払
多面的機能を支える共同活動を支援
◆資源向上支払
地域資源（水路、農道等）の質的向上や施設の長寿命化に対する活動を支援
【担当課】 農政課

- **村づくり交付金事業**
【予算額】 67,513千円
持続的な農業経営の確立等を図るため、国及び県の補助金の交付を受けて、農道及び農業用排水路等の整備を促進します。
【担当課】 農政課



【ねらい】

- ①リーダー資質の育成や夢を実現するための活動を応援することで、若者たちの生きる力を育みます。
- ②学年の枠を越えた一貫教育により、ふるさと燕から世界へ羽ばたく人材を育成します。

豊かな個性の創造

【拡】 燕キャプテンミーティング事業

【予算額】 483千円

リーダーとして大切なコミュニケーション能力や課題解決能力等を養うため、学校や活動種目の枠を越えて実施している本事業をさらに拡充します。

- ◆対象 部活動において中心的な役割を担う中学生
- ◆内容 3日間の研修を実施
 - ・リーダー向けの講演（拡充）
 - ・グループワーク、交流会等



【担当課】 学校教育課

○ 長善館学習塾事業

【予算額】 775千円

かつて長善館から多くの偉人が輩出されたように、本事業により様々な体験活動を通して、思考力・創造力・コミュニケーション能力を養い、未来の燕市を担う子どもたちを育成します。

- ◆対象 小学校6年生
- ◆内容
 - ・特別講師による学習
 - ・2泊3日の宿泊体験

【担当課】 学校教育課

○ 「学びの心」を醸成する教育

【予算額】 ゼロ予算

毎日10分程度の時間を設けて発達段階に応じた活動を行うことで、集中力や学習意欲を高めます。

- ◆「つばめおはようタイム」の実施（保育園・幼稚園）
- ◆「燕長善タイム」の実施（小学校～中学校）

【担当課】 子育て支援課、学校教育課



【新】 羽ばたけつばくろ応援事業

【予算額】 1,027千円

【再掲 6ページ参照】

【担当課】 学校教育課

【拡】 Jack & Bettyプロジェクト

【予算額】 31,824千円

【再掲 6ページ参照】

【担当課】 学校教育課

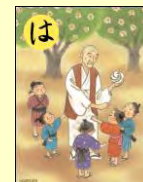
ふるさとへの愛着を育む教育

【拡】 つばめっ子かるた普及促進事業

【予算額】 1,167千円

郷土への誇りと愛着を育むための郷土学習と子どもたちの健全育成を目的として、つばめっ子かるたの更なる普及を推進します。

- ◆「つばめっ子かるた大会」の開催
- ◆市販用かるたの増刷



【担当課】 社会教育課

○ 燕ジュニア検定事業

【予算額】 445千円

子どもたちが燕市についての理解と愛着を深めることを目的として、小学生を対象としたご当地検定「燕ジュニア検定」を継続して行います。



【担当課】 学校教育課

【ねらい】

- ①学校・家庭・地域等の関係者が一体となって教育力の向上に努め、学習意欲・学力の向上を図ります。
- ②子どもたちが安全で安心な環境で学び、生活できるよう教育環境の整備・充実を図ります。

教育力の向上

● 中学校学力向上対策プロジェクト 【予算額】140千円

国語・数学・英語の学力向上を目指して、担当教員研修や新潟大学との連携を推進し、教育力の向上を図ります。

- ◆主任研修や教員研修の実施（回数の拡充）
- ◆家庭学習課題の学校間共有による計画実施
- ◆新潟大学教育学部とのパートナーシップ

【担当課】学校教育課

○ 科学教育推進事業

【予算額】3,213千円

燕・弥彦科学教育センター及び長岡技術科学大学と連携し、理数教育を中心とした研修体制を充実・強化することで児童生徒、教師や市民の科学に対する意識向上を図ります。

【担当課】学校教育課

学校と地域の連携強化

● 学校・地域連携促進事業 【予算額】5,000千円

【再掲 8ページ参照】

【担当課】学校教育課

○ 地域に根ざす学校応援団事業 【予算額】10,860千円

【再掲 8ページ参照】

【担当課】学校教育課

教育施設的环境整備

● Wi-Fiステーション 整備事業

【H26補正予算額】59,400千円

学校等の施設に無線LAN環境を整備し、ICT教育で活用するとともに、避難所指定されている施設では災害時における情報通信手段の確保を図ります。



【担当課】防災課

小中学校耐震改修・改築事業

● 燕西小学校屋内運動場天井耐震改修事業 【予算額】116,900千円

【事業期間】平成26～27年度

● 燕中学校剣道場天井耐震改修事業 【予算額】39,400千円

【事業期間】平成26～27年度

● 小池中学校特別教室棟改築事業 【予算額】422,740千円

【事業期間】平成26～27年度

○ 吉田小学校改築事業

【H26補正予算額】112,513千円

【事業期間】平成19～27年度

【担当課】学校教育課

● 東部学校給食センター建設事業

【予算額】37,592千円

【事業期間】平成25～29年度

平成28年度からの本工事に向けて、設計業務委託を行います。



【担当課】学校教育課

【ねらい】

- ①子育て家庭の多様なライフスタイルを応援する、きめ細やかな支援を充実するとともに、支援情報の発信を強化します。
- ②施設の適正配置や充実を図り、子どもに最適な環境づくりを推進します。

きめ細やかな支援の充実・強化

拡 要保護児童対策事業

【予算額】 16,397千円

児童虐待や児童に関する様々な相談などに的確に応じるため、関係機関との連携を密にし、相談・支援体制を強化します。

- ◆児童家庭相談
- ◆こんにちは赤ちゃん事業（看護師による家庭訪問）
- 【担当課】 社会福祉課



○ 地域子育て支援講座事業

【予算額】 468千円

子育ての不安や悩みを分かち合い、同世代の子どもを持つ親同士のつながり・交流を促進する講座を開催します。

- ◆子どものイヤイヤ期お助け講座
- ◆親子の絆づくり“赤ちゃんがきた！”

【担当課】 子育て支援課



○ 子育て情報発信事業

【予算額】 529千円

支援制度や各種イベントなど、子育てに役立つ情報のメール配信や、結婚から子育てまでの情報を発信するポータルサイトの開設を行います。

- ◆すこやか家族応援情報ページ
- ◆子育てつばめメール配信事業

【担当課】 子育て支援課

○ 病児・病後児保育運営事業

【予算額】 18,487千円

【再掲 6ページ参照】

【担当課】 子育て支援課

新 子育て総合支援センター 運営事業

【予算額】 8,129千円

【再掲 6ページ参照】

【担当課】 子育て支援課

保育環境の整備

子育て施設の整備・充実

拡（仮称）燕西こども園整備事業

【予算額】 580,140千円

【事業期間】 平成26～27年度

燕西幼稚園と燕保育園を統合して（仮称）燕西こども園を整備します。

- ◆園舎増築・改修工事
- ◆保育備品購入



新（仮称）燕西児童クラブ整備事業

【予算額】 7,000千円

【事業期間】 平成27～28年度

燕西幼稚園と燕保育園の統合により、空いた燕西幼稚園の園舎を、児童クラブとして整備します。



【担当課】 子育て支援課

【ねらい】

- ①健康的な生活習慣が市民の間に定着することを旨とし、市民主体の健康づくりへの取り組みを支援します。
- ②各種健(検)診や保健指導の充実を図り、生活習慣病の発症予防・重症化予防対策の強化に取り組みます。

健康づくりへの支援

○ 元気磨きたい活動推進事業

【予算額】 300千円

市民が主役の健康づくりの取り組み「元気磨きたい」の活動を支援し、健康づくりの輪を広げます。

- ◆市民が自ら考えたプロジェクトごとに活動
- ◆年度末には各プロジェクトの体験などができる交流の場「元気まつり」を開催



【担当課】 健康づくり課

● 健康づくりマイストーリー運動

【予算額】 4,412千円

【担当課】 健康づくり課

【再掲 8ページ参照】

妊娠・出産・育児への助成

● 特定不妊治療費助成事業

【予算額】 4,000千円

【担当課】 健康づくり課

【再掲 6ページ参照】

● 子ども医療費助成事業

【予算額】 247,898千円

【担当課】 保険年金課

【再掲 6ページ参照】

健(検)診の充実・生活習慣病の予防

● 慢性閉塞性肺疾患進行予防事業

【予算額】 529千円

主に長期の喫煙が原因とされる慢性閉塞性肺疾患について、早期発見を目的とした簡易検査を実施します。

- ◆対象者 (①②をともに満たす方)

- ①国民健康保険加入者で集団検診における特定健診受診者
- ②喫煙者または喫煙歴のある方

- ◆自己負担額 無料



【担当課】 保険年金課

● 胃がん対策事業

【予算額】 3,352千円

胃がん発症原因の一つであるピロリ菌感染等の有無を確認する胃がんリスク検診について、対象年齢を拡充して実施します。

- ◆対象者 国民健康保険加入者で集団検診における特定健診受診者

- ◆対象年齢 40歳から5歳間隔で70歳まで
- ◆自己負担額 1,000円



【担当課】 保険年金課



● 糖尿病性腎症重症化予防事業

【予算額】 2,754千円

○ 慢性腎臓病進行予防事業

【予算額】 1,460千円

特定健診結果やレセプトデータを活用して、腎臓病の重症化予防対策を強化します。

- ◆慢性腎臓病の疑いのある方に、受診勧奨等を目的とした保健指導の実施
- ◆主治医と連携して食事指導などの生活習慣改善プログラムの実施

【担当課】 保険年金課

【ねらい】

- ①高齢者に必要な医療や介護などのサービスを総合的に提供する体制づくりに取り組みます。
- ②互いに助け合い、高齢者を地域で支える仕組みづくりを進めます。
- ③生活困窮者や若者に対し継続的な相談支援を実施し、地域における自立や就労の支援に努めます。

安心して暮らし続けられる地域づくり

新 燕市地域包括ケアシステム構築推進事業

【予算額】 931千円

高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、住まい・医療・介護・介護予防・生活支援を一体的に提供する「地域包括ケアシステム」の構築に取り組みます。

- ◆医療・介護・地域の関係者による地域ケア推進会議の開催
- ◆地域ケア推進会議で地域包括ケアシステム構築における課題や進める方向の検討・提示



【担当課】 長寿福祉課

新 在宅医療・介護連携推進事業

【予算額】 16,961千円

在宅で医療・介護サービスを受けることができる体制整備に向け、関係する医療機関と介護サービス事業所などの連携を推進します。

- ◆在宅医療・在宅介護の支援窓口を吉田地区地域包括支援センターに設置
- ◆窓口には医療ソーシャルワーカー等の連絡調整役を配置

【担当課】 長寿福祉課

拡 地域支え合い体制推進事業

【予算額】 2,303千円

【再掲 8ページ参照】

【担当課】 社会福祉課

自立や就労の支援

新 若者就労支援事業

【予算額】 1,260千円

働くことに悩みを抱え、就労支援を必要としている若者への相談業務等を強化し、燕市で支援が受けられる体制を整備します。

- ◆三条サポートステーションからの出張相談を週2回実施



【担当課】 社会教育課

○ 生活困窮者自立支援事業

【予算額】 4,140千円

生活困窮者の課題を的確に把握し、自立や就労に向けた支援を行います。

- ◆支援計画を踏まえた包括的な支援
- ◆地域のネットワークづくり
- ◆一般就労に向けた生活習慣の確立
- ◆社会参加能力の形成
- ◆就労体験

【担当課】 社会福祉課

【ねらい】

- ①障がいのある人や児童のニーズを把握し、適切な支援へとつなぐきめ細やかな相談支援体制の強化に取り組みます。
- ②障がいのある人が不便なく安心して暮らすことができるよう、生活支援の充実に努めます。

相談支援体制の強化

拡 障がい者基幹相談支援センター機能強化事業

【予算額】 33,000千円

燕市障がい者基幹相談支援センターを中心として、市内の相談支援事業所と連携し、障がいに関する相談支援体制の強化に取り組みます。

- ◆民間出身の相談の専門員を引き続き配置し、相談体制を強化
- ◆新規参入の相談支援事業所に対する運営支援
(4事業所→5事業所)
- ◆相談支援専門員の増員による相談力の強化
(16人→19人)



【担当課】 社会福祉課

新 療育支援体制構築準備事業

【予算額】 180千円

発達気になる子の早期発見から、その子にあった適切な支援に早期につなぐ療育支援体制の構築に取り組みます。

- ◆保育園等の巡回訪問や相談事業の実施
- ◆親子の適切な接し方を学ぶペアレントトレーニングの実施
- ◆関係課の連携による成長段階に応じた切れ目のない支援体制の構築準備



【担当課】 社会福祉課

生活支援の充実

拡 障がい者日常生活用具給付事業

【予算額】 17,240千円

視覚障がい者が情報を手軽に入手し、自立した日常生活を営むことができるよう、日常生活用具の購入費を助成します。

- ◆ICタグレコーダーと地上デジタル放送対応ラジオを給付種目に追加
- ◆視覚障がい者用ポータブルレコーダーの給付対象を1・2級から3級に拡充
【担当課】 社会福祉課

障がい者向け情報提供の充実

新 広報つばめ音声訳事業

【予算額】 1,363千円

視覚障がい者や手の不自由な人など広報紙の閲覧が困難な人に向けて、広報つばめを音声訳したCDなどを製作し、希望者に配付します。

【担当課】 地域振興課、社会福祉課

新 燕市公式ウェブサイトリニューアル事業

【予算額】 3,000千円

音声読み上げに適したテキストページの作成などにより、障がいのある人にも見やすく検索しやすい燕市公式ウェブサイトリニューアルします。

【担当課】 地域振興課

新 手話通訳者等頸肩腕障がい検診助成事業

【予算額】 50千円

手話通訳者や手話・要約筆記奉仕員の頸肩腕障がいを予防し、継続して活躍していただくため、検診にかかる自己負担費用などを助成します。

【担当課】 社会福祉課

【ねらい】

- ①ふるさと燕の芸術文化活動の振興のため、芸術や文化に触れる機会の充実を図ります。
- ②市民の多様な生涯学習ニーズに応えるため、推進計画の策定や施設の充実を図ります。

生涯学習環境の充実

☉ 文化会館自主事業

【予算額】 23,720千円

市民の芸術文化の向上を目的とし、アーティストによる舞台芸術や市民芸術・文化活動など、幅広い年齢層を対象とした自主事業を行います。

- ◆燕市PR大使ふるさとコンサート
燕市PR大使によるコンサートを開催
 - ◆燕市文化協会との共催音楽会
市内団体参加の音楽会を開催
 - ◆マイタウンコンサート
新潟県を中心として活動する音楽家によるコンサートを開催
 - ◆市内小学校合同演劇鑑賞会
全小学校児童を対象に演劇の鑑賞会を開催
- 【担当課】 社会教育課



- ◆ポップスコンサート
一流の音楽家によるコンサートを開催
- ◆つばめ音楽文化祭
(洋・邦楽、ロック&フォーク)
市民参加型の音楽祭を開催

○ 生涯学習推進計画策定事業

【予算額】 639千円

現行の生涯学習推進計画を見直し、本市の生涯学習をさらに推進するため、平成26年度に策定した基本理念や基本目標を定めた「基本構想案」を踏まえ、第2次生涯学習推進計画を策定します。

【担当課】 社会教育課



○ 公民館事業

【予算額】 10,628千円

【再掲 8ページ参照】

【担当課】 社会教育課

社会教育施設の環境整備

☉ 中央公民館改修事業

【予算額】 720,866千円

【事業期間】 平成26～28年度

◆耐震改修

安全・安心な生涯学習活動の拠点として、新耐震基準による改修を実施

◆増築（設計業務委託）

老朽化の著しい燕市勤労青少年ホームを取壊し、利用ニーズの高い施設（軽運動場、調理室、防災備蓄庫等）を中央公民館に増築する設計業務委託を実施



☉ 南公民館耐震改修事業

【予算額】 144,420千円

【事業期間】 平成26～27年度

耐震改修工事を実施し、施設の長寿命化を図ります。

【担当課】 社会教育課

【ねらい】

- ①全国規模の大会誘致により、スポーツへの意欲を高め、競技力の向上を目指します。
- ②幼少期から体の動かし方を学ぶことにより、生涯を通じた体力の向上を図ります。
- ③多様化する市民のニーズに対応し、いつでも、だれでもスポーツに親しむことのできる環境を整備します。

大規模大会の誘致によるスポーツ振興

新 JCYレディースサッカーフェスティバル開催事業 【予算額】 6,464千円

競技への関心を高めるとともに、スポーツによる地域の活性化を図るため、日本クラブユースサッカー連盟主催の「JCYレディースサッカーフェスティバル」を開催します。
【担当課】 社会教育課



新 東京五輪キャンプ地誘致事業 【予算額】 2,711千円 【再掲 9ページ参照】

【担当課】 社会教育課

子どもの体力向上

拡 子どもの体力向上サポート事業 【予算額】 1,000千円

幼少期から体の動かし方を学ぶことで体力の向上を図るため、市内モデル園・モデル校で先進的な運動プログラムを実施します。

- ◆先進的な運動プログラムの実施（保育園～小学校）
- ◆市で作成した補助運動プログラムの周知（小学校）



【担当課】 社会教育課

スポーツ環境の整備促進

スポーツ環境整備事業

- 拡 粟生津体育センター耐震改修事業
【予算額】 124,000千円
【事業期間】 平成26～27年度
 - ◆耐震補強
 - ◆内部・塗装・電気設備改修
 - ◆トイレ洋式化
 - ◆粟生津公民館空調設備改修 等

- 新 分水武道館耐震改修事業
【予算額】 13,500千円
【事業期間】 平成27～28年度
耐震改修工事の設計業務委託を実施します。

- 新 可搬式投光器照明整備事業
【予算額】 3,479千円
ナイター設備の無い施設でも、夜間の練習ができる環境づくりのため、充電式ポータブルLED投光器を導入します。



【担当課】 社会教育課

【ねらい】

- ①総合防災訓練や自主防災組織への育成支援等を行い、防災意識の高揚と地域防災力の向上を図ります。
- ②地震発生時の建物崩壊を防止するため、住宅の耐震化を進めます。
- ③地域での防犯活動を支援し、犯罪の発生しにくい環境整備を推進します。

防災意識の向上による地域防災力の強化

〔拡〕 総合防災訓練

【予算額】ゼロ予算

災害発生時に的確かつ迅速な避難行動や災害対応を取れるように全市一斉で訓練を行います。

◆住民訓練

- ・住民避難訓練
- ・避難所運営訓練
- ・講習会、炊出し訓練など参加自治会による独自訓練

◆職員訓練

- ・避難所開設・運営訓練
- ・情報発信訓練



【担当課】防災課

〔拡〕 地域防災組織育成支援事業

【予算額】2,058千円

【再掲 8ページ参照】

【担当課】防災課

〔拡〕 災害時備蓄品等配備事業

【予算額】1,602千円

災害時に必要となる備蓄品や資機材を、市内15カ所の基幹避難所に年次計画により配備します。

◆備蓄品

食料品・飲料水・し尿処理薬剤

◆資機材

担当職員が避難所において使用する合図灯や救急セットなど



【担当課】防災課

〔新〕 Wi-Fiステーション整備事業

〔再掲〕

【H26補正予算額】59,400千円

学校等の施設に、無線LAN環境を整備し、ICT教育で活用するとともに、避難所指定されている施設では災害時における情報通信手段の確保を図ります。

【担当課】防災課

地震時の建物崩壊防止

住宅の耐震化への支援

【予算額】7,450千円

昭和56年以前に建築された住宅について、耐震診断や改修費、建替費用を助成します。

○ 木造住宅耐震診断事業

住宅の耐震診断に対して診断費の一部を助成します。

◆自己負担1万円（高齢者世帯等は不要・補助上限11万円）

○ 木造住宅耐震改修事業

耐震性能が基準に満たない住宅の耐震改修に対して改修費の一部を助成します。

◆耐震設計費の1/2補助（上限10万円）

◆耐震改修工事費の2/3補助（上限65万円）

〔新〕 木造住宅建替耐震化事業

耐震性能が基準に満たない住宅の建替に対して助成します。

◆建替工事費の補助（一律30万円）

【担当課】営繕建築課

犯罪の抑止対策

○ 防犯カメラ設置補助事業

【予算額】1,200千円

犯罪の抑止を図るため、各地区の防犯組合が設置する防犯カメラに対して助成します。

◆設置費用の1/2補助（上限6万円）

【担当課】総務課

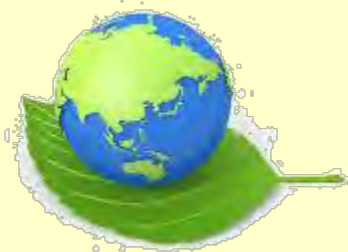
【ねらい】

- ①環境について学び、環境美化活動に親しむ機会を提供し、市民の環境保全への意識の定着を推進します。
- ②資源循環型社会の構築に向けて、再資源化と適正処理の浸透を図ります。

計画づくり

臨 環境基本計画策定事業 【予算額】2,644千円

平成27年度までの計画期間となっている現行の燕市環境基本計画の実施状況を検証するとともに、東日本大震災を契機としたエネルギー環境の変化など、新たに発生した社会的要因を反映した新しい燕市環境基本計画を策定します。



【担当課】生活環境課

環境美化活動の推進

拡 環境美化推進イベント事業 【予算額】144千円 【再掲 8ページ参照】

【担当課】生活環境課

再資源化と適正処理の推進

新 カンカンBOOK (資源ごみ回収・子育て支援連携事業)

【予算額】100千円

市内の事業所や個人事業主からアルミ缶やスチール缶の寄附をいただき、資源ごみの再資源化を促進します。
また、回収した資源ごみの売却益は、未来の燕市を担う子どもたちの図書購入費（児童館）の一部として活用します。



【担当課】生活環境課、子育て支援課

子どもの教育環境の充実に活用

○ ペットボトルリサイクル 業務委託事業 【予算額】3,500千円

資源の有効利用のため、ペットボトルの回収を引き続き行うとともに、異物除去作業等を障がい者施設に委託することで、障がい者の雇用確保を図ります。

【担当課】生活環境課、社会福祉課



○ 小型家電リサイクル推進事業 【予算額】215千円

小型家電製品に含まれる有用金属の再資源化と不燃ごみの減量化を図るため、障がい者施設と連携して、使用済小型家電製品の回収・分解を行います。

【担当課】生活環境課、社会福祉課

障がい者の就労支援

【ねらい】

- ①近隣自治体や交通事業者と共同して、便利で利用しやすい広域的な公共交通環境を整備します。
- ②割合が増加している高齢者の交通事故を防止する対策を推進します。

広域的な公共交通環境の整備

弥彦村との定住自立圏形成協定に基づき、共同運行を開始



拡 循環バス運行事業 (スワロー号・やひこ号)

【予算額】12,456千円

燕市内を運行している循環バス「スワロー号」に加え、燕市吉田地区と弥彦村間を運行する「やひこ号」の運行を平成27年4月から開始します。

スワロー号と共通のバス停で乗り継ぐことで弥彦村への往来をより便利にして、燕弥彦地域の交通環境の向上に取り組みます。



【担当課】生活環境課

新 井土巻高速バス乗場駐車場運営事業

【予算額】269千円

【再掲 6ページ参照】

【担当課】生活環境課

拡 予約制乗合ワゴン車運行事業 (おでかけきららん号)

【予算額】34,500千円

予約制乗合ワゴン車「おでかけきららん号」について、平成27年7月から新たに運行エリアを弥彦村まで拡大して運行します。



【担当課】生活環境課

交通事故防止対策の強化

○ 高齢者運転免許自主返納支援事業

【予算額】2,000千円

運転免許を自主返納された満65歳以上の方に対して、他の交通手段の利用に対する助成を行います。

◆助成内容 自主返納時に、次の利用券10,000円分を進呈

- ・循環バス利用券
- ・おでかけきららん号利用券
- ・タクシー利用券

【担当課】生活環境課

【ねらい】

- ①空き家等の危険家屋による被害を防止し、有効活用を促進することにより、安全・安心なまちづくりに取り組みます。
- ②市内での住宅取得を支援し、定住人口の増加を図ります。
- ③近年頻発しているゲリラ豪雨による浸水被害を防ぐため、各地区に応じた浸水対策を講じます。

空き家・空き地対策

○ 空き家解体撤去費助成

【予算額】 5,000千円

老朽化して危険な建物等の解体を促進して市民の安全や安心を確保するために、空き家の解体費用の一部を助成します。

- ◆工事費用 30万円以上
- ◆助成率 解体費用の1/2
- ◆助成上限額 50万円

○ 空き家改修費助成

【予算額】 1,500千円

住宅ストックの利用を推進し、市民の安全で良質な住環境を確保するために、空き家改修費の一部を助成します。

- ◆工事費用 30万円以上
- ◆助成率 工事費用の1/3
- ◆助成上限額 30万円

○ 空き家・空き地活用バンク事業

【予算額】 ゼロ予算

空き家・空き地を利用して燕市に定住を希望する方へホームページで情報を提供します。



【担当課】 都市計画課

市内居住への支援

新 移住家族支援事業

【H26補正予算額】 30,000千円

新 定住家族支援事業

【予算額】 16,950千円

【再掲 6ページ参照】



【担当課】 都市計画課

○ 住宅リフォーム助成事業 [再掲]

【予算額】 30,000千円

市民の生活環境の向上を図るとともに、市内建築関連業者の工事受注機会を増進するため、個人住宅のリフォーム工事費用の一部を助成します。

- ◆工事費用 20万円以上
- ◆助成率 工事費用の10%
- ◆助成上限額 10万円



【担当課】 営繕建築課

冠水対策の強化

○ 須頃郷排水対策事業

【予算額】 596,000千円

【事業期間】 平成24～28年度

排水路の断面拡幅、調整池等の整備を行います。

【担当課】 都市計画課

○ 本町排水区浸水対策事業

【予算額】 51,000千円

【事業期間】 平成25～31年度

貯留施設等整備の設計を行います。

【担当課】 下水道課

新 新興野地区雨水対策事業

【予算額】 18,000千円

【事業期間】 平成27～31年度

排水路と調整池の測量及び設計を行います。

【担当課】 土木課



【ねらい】

- ①遊具の新設・更新を行い、遊び場や憩いの場としての公園機能の充実を図ります。
- ②市民や事業者との協働により施設整備を行い、親しみと愛着がもてる公園づくりを目指します。

公園施設の充実

新 大河津分水さくら公園整備事業

【予算額】 42,000千円

【事業期間】 平成27～31年度

分水おいらん道中、大河津分水路周辺地域の自然環境や文化遺産などが楽しめる大河津分水さくら公園に遊具等を設置し、地域住民などの交流の拠点となる親水空間の場として整備します。

- ◆大型複合遊具の設置
- ◆休憩施設（展望台）の設置
- ◆通路橋施設の設計



【担当課】 都市計画課

新 吉田ふれあい広場整備事業

【予算額】 62,403千円

【事業期間】 平成27年度

子どもたちに人気のゴーカート、複合遊具などを備えたちびっこ広場や広大な芝生広場など多くの施設を備えた吉田ふれあい広場の老朽化した遊具などの再設置を行い、さらに親しみのある公園としてリニューアルします。

- ◆複合遊具、四阿の再設置
- ◆外周フェンスの再設置



【担当課】 都市計画課

利用者とともに築く公園づくり

新 「想いを形に」かがやきベンチ事業

【予算額】 450千円

公園での思い出、結婚や子どもの誕生などの人生の節目、記念行事などに際して、想いを形に残すため、公園にベンチを寄附していただく制度を導入します。

- ◆寄贈者名とメッセージを記念プレートに刻銘
- ◆記念品の贈呈



燕〇〇学校
第10回同窓会

【担当課】 都市計画課

臨 東町公園オープニングイベント

【予算額】 203千円

普段は憩いの場となる公園としての役割を果たしながら、防災施設や用具を備えて避難時の体験学習ができ、災害発生時は避難場所となる東町公園が、平成27年4月に供用開始することから、オープンを記念して地域住民を中心に記念式典等を開催します。

- ◆記念式典
- ◆防災設備・用具の見学会



【担当課】 都市計画課

【ねらい】

- ①幹線道路の改良および老朽化した付帯施設等の改修を推進し、安全で快適な道路環境を整備します。
- ②消雪施設の整備促進により冬季間の円滑な交通を確保します。

安全・安心な道路環境の整備

新 側溝修繕事業

【予算額】 44,000千円

【事業期間】 平成27～31年度

経年劣化したコンクリート側溝を既製品U型側溝へ改修し、歩行者の安全を確保します。

- ◆燕地区 (L=600m)
- ◆分水地区 (L=200m)



【担当課】 土木課

新 道路付属物修繕事業

【予算額】 11,000千円

老朽化した道路照明や道路標識の道路付属物を更新し、安心・安全に通行できる道路環境を確保します。

- ◆道路標識 1箇所
- ◆道路照明 7箇所



【担当課】 土木課

○ 吉田95号線道路改良事業

【予算額】 113,000千円

【事業期間】 平成18～27年度

吉田駅前市街地と吉田北地区を結ぶ本路線の整備を推進します。本年度は歩道整備工事を実施し、全線供用開始します。

【担当課】 土木課

消雪施設の整備促進

新 中島環状線他雪寒事業

【予算額】 57,000千円

分水北小学校の通学路であり、沿線にあおい保育園を有する本路線に井戸と消雪パイプを整備します。

○ 道金水道町線他雪寒事業

【予算額】 27,000千円

【事業期間】 平成26～27年度

中ノロ川水門、蒲原大堰を経て三条市方面と結ぶ重要幹線である本路線に井戸と消雪パイプを整備します。



○ 井土巻16号線雪寒事業

【予算額】 16,000千円

【事業期間】 平成26～27年度

燕南小学校の通学路であり、沿線にぎんなん保育園を有する本路線に井戸と消雪パイプを整備します。

○ 藤見線他雪寒事業

【予算額】 29,000千円

【事業期間】 平成26～27年度

国道116号を挟み吉田市街地と吉田北部地区を結ぶ重要幹線である本路線に井戸と消雪パイプを整備します。

【担当課】 土木課

【ねらい】

- ① 下水道施設の計画的な整備と改築更新の促進を図り、普及率の向上と適正な維持管理に努めるとともに、早期接続を促す新制度の導入により下水道接続率の向上を目指します。
- ② 中長期的な視野に立ち、健全で持続可能な水道事業経営に取り組みます。

下水道施設の適正な維持管理の推進と接続率の向上

○ 公共下水道整備 (未普及対策) 事業 【予算額】 1,247,150千円

生活環境の改善、公共用水域の水質保全及び下水道普及率向上のため、施設整備を推進します。

【担当課】 下水道課

新 公共下水道早期接続促進事業 【予算額】 5,910千円

下水道接続率向上のため、供用開始後、2年以内で接続した方（新築を除く）に早期接続報奨金を交付します。

- ◆ 報奨金額
 - ・ 1年以内に接続 30,000円
 - ・ 2年以内に接続 20,000円

【担当課】 下水道課

○ 本町排水区管渠施設改築更新 (長寿命化) 事業 【予算額】 172,600千円 【事業期間】 平成26～30年度

燕駅前を中心とした本町排水区における下水道管の老朽化による道路陥没を防止するため、長寿命化計画に基づき、布設後40年以上が経過する幹線下水道管の改修を行います。

【担当課】 下水道課



持続可能な水道水の安定供給

○ 水道事業基本計画策定事業 【予算額】 11,826千円

“安全で安心な燕の水道水”を将来的に安定して届けるため、経営計画に基づき、現状の分析、水需要や社会的条件を予測し、今後の整備内容を決定するため、水道事業基本計画を策定します。



【担当課】 経営企画課

○ 下水道終末処理施設改築更新 (長寿命化) 事業 【予算額】 513,200千円 【事業期間】 平成24～28年度

良好な放流水質の確保と経済的な施設運営を図るため、長寿命化計画に基づき老朽化した下水道終末処理場の計画的な改築更新を行います。

【担当課】 下水道課

【ねらい】

- ①まちづくりに積極的に関わる若い人材を育成するとともに、市民活動への支援をより一層推進します。
- ②進むべき燕市の将来像に向けて中長期的な視点から政策を立案するとともに、公共施設の有効活用を図ります。
- ③市特産品を全国にPRすることにより新たな財源の確保を図ります。

市民活動への支援

○ つばめ若者会議事業

【予算額】 2,018千円

【担当課】 地域振興課 【再掲 7ページ参照】

⊕ イキイキまちづくり支援事業

【予算額】 3,207千円

【担当課】 地域振興課 【再掲 8ページ参照】

行政サービスの向上

⊕ 社会保障税番号制度導入事業

【予算額】 3,240千円

新 個人番号カード交付事務事業

【予算額】 28,516千円

国の施策である社会保障税番号制度（マイナンバー）の導入を進めます。

◆今後のスケジュール

- ・平成27年 9月まで 条例・規則の整備
- ・平成27年10月 個人番号の通知
- ・平成28年 1月 個人番号カードの交付
個人番号の利用開始



【担当課】 総務課、市民課 他

女性が輝くつばめ

新 女性が輝く研修交流事業

【H26補正予算額】 742千円

【担当課】 地域振興課 【再掲 7ページ参照】

計画的な行財政運営

臨 燕市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定事業

【H26補正予算額】 6,000千円

「まち・ひと・しごと創生法」の規定に基づき、燕市版の総合戦略を策定します。

○ 第2次総合計画策定事業

【予算額】 3,516千円

燕市の行政運営の最上位計画にあたる燕市総合計画について、多様化する市民ニーズに対応するため、今後の施策の中長期ビジョンにあたる第2次総合計画を策定します。

○ 第2次行政改革大綱策定事業

【予算額】 341千円

組織、制度及び行政改革のあり方を見直し、計画的な行財政運営の適正化・効率化を図るため、第2次行政改革大綱を策定します。

【担当課】 企画財政課

自主財源の確保

⊕ ふるさと燕応援事業

【予算額（歳入）】 132,000千円

【再掲 10ページ参照】

【担当課】 総務課

施設の有効活用

⊕ 公共施設等総合管理事業

【予算額】 5,503千円

平成26年度に策定した公共施設等総合管理計画の方針に基づき、各公共施設等の具体的な方向性について検討するとともに、新地方公会計制度への移行に伴う公共施設の固定資産台帳整備を行います。

新 旧燕工業高校跡地活用事業

【予算額】 265千円

旧燕工業高校跡地について事業者提案制度を導入し、有効活用を図ります。



【担当課】 用地管財課

燕市は、3市町が合併し、平成28年3月20日に10周年を迎えます。
この記念すべき年を迎えるにあたり、年間を通じて記念事業を実施します。

スポーツ

〔拡〕 燕マラソン大会

開催時期：4月

【予算額】686千円

合併10周年を記念し、ゲストランナーをお迎えして燕マラソン大会を開催します。

〔合併10周年記念拡充ポイント〕

- ◆ゲストランナー 谷口浩美氏
(1991年世界陸上選手権東京大会マラソン金メダリスト)



谷口浩美氏

【担当課】社会教育課

生涯学習・文化活動

〔拡〕 文化会館自主事業

開催時期：8月～12月

【予算額】22,386千円

市民の芸術文化の向上を目的とし、アーティストによる舞台芸術や市民芸術・文化活動など、幅広い年齢層を対象として開催してきた自主事業を合併10周年記念事業として拡充します。

〔合併10周年記念拡充ポイント〕

- ◆TOKI弦楽4重奏団 ……………8月
- ◆映画「夢は牛のお医者さん」
(自主映画上映会) ……………9月
- ◆ミュージカル「クリスマスキャロル」……………9月
(文化振興事業団との共催事業)

【担当課】社会教育課 ……………12月



夢は牛のお医者さん

学校教育

〔拡〕 子どもを育む推進事業

開催時期：9月～3月

【予算額】5,017千円

いじめ、不登校等の未然防止と子どもたちの豊かな情操育成を目指し取り組んできた本事業を合併10周年記念事業として拡充します。

〔合併10周年記念拡充ポイント〕

- ◆中学生観劇会
「泥かぶら」(予定)の実施



【担当課】学校教育課

開催時期：10月

〔拡〕 燕市美術展覧会開催事業

【予算額】1,350千円

合併以降、毎年開催してきた燕市美術展覧会を合併10周年記念事業として拡充します。

〔合併10周年記念拡充ポイント〕

- ◆10回記念特別賞の授与
- ◆記念講演会の開催
- ◆記念図録の作成・販売



【担当課】社会教育課

記念式典

開催時期：3月

〔臨〕 合併10周年記念式典 【予算額】1,160千円

記念すべき合併10周年を祝い、燕市のさらなる飛躍を祈念して、式典を行います。

- ◆燕市表彰式を併せて開催

【担当課】総務課